

「華麗なる

SIVEX Group presents

第6回SPクラシック・コンサート

モーツァルト音楽の夕べ」



寺沢 希美(ヴァイオリン)



横山 幸雄(ピアノ)



©Jakub Kavin

岡崎 麻奈未(コロラトゥーラ・ソプラノ)

モーツァルト



濱 一(指揮)



落合 真子(コンサートマスター)



はまくと仲間たちオーケストラ

モーツァルト:ヴァイオリンソナタ第18番 ト長調 K.301(横山 幸雄・寺沢 希美)

歌劇《フィガロの結婚》序曲

華麗なるモーツァルト歌劇の世界(岡崎 麻奈未)

- ・歌劇《魔笛》より「夜の女王のアリア」復讐の炎は地獄のように我が心に燃え
- ・歌劇《フィガロの結婚》より「スザンナのアリア」 ついにこの時が来たわ、心配せずに心から楽しめる瞬間が
- ・アダン:オペラ「闘牛士」より ああお母さん聞いての主題による変奏曲(きらきら星変奏曲)

モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲 第5番 イ長調 K.219 「トルコ風」(寺沢 希美)

モーツァルト:ピアノ協奏曲第24番 ハ短調 K.491(横山 幸雄)

2023年7月25日(火) 開場17:30 開演18:30

東京芸術劇場 コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 (池袋駅西口より徒歩約2分・池袋駅地下通路2b出口 直結)

[お問い合わせ]

株式会社SPプランニング

<https://www.sp-planning.biz>

[TEL]090-3227-9895 (山内)

[MAIL]info@sp-planning.biz

主催



SP-Planning Inc.
To tomorrow created with you
株式会社SPプランニング

特別協賛

Sivex Premium Innovation 株式会社

協賛

メルセデス・ベンツ川口 / メルセデス・ベンツ墨田

後援

オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム

協力

はまくと仲間たちオーケストラ実行委員会 / 一般社団法人 日本芸術振興財団

[チケット]

S席:6,000円 A席:5,000円 B席:4,000円

[お申込み]ローチケ(ローソンチケット)

<https://l-tike.com/sp-classic2023/>



〈チケット購入前にのご注意〉

- ・本公演は自治体や会場のガイドラインに沿って、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開催いたします。
- ・やむを得ない事情により、出演者、曲目・曲順等を変更又は中止する場合がございます。
- ・一度お求めいただきましたチケットは、公演中止の場合以外はキャンセル・変更はできません。
- ・未就学児の入場・同伴はご遠慮ください。
- ・いかなる場合もチケットの再発行はできません。
- ・場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用はお断りいたします。

- Profile -



横山 幸雄 (ピアノ)
Yukio Yokoyama



寺沢希美 (ヴァイオリン)
Nozomi Terasawa



岡崎 麻奈未 (コロラトゥーラ・ソプラノ)
Manami Okazaki



濱 一 (指揮)
Hajime Hama

ショパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少入賞を果たし、本格的な演奏活動を開始。クラシック界のトップアーティストとして常に注目を集めている。2010年ショパン生誕200年を記念して行なわれた14時間に及ぶ演奏会「入魂のショパン」はギネス世界記録に認定され、翌年には自らのギネス記録を更新。さらに、ショパンが生涯で作曲した240曲の全ての作品を3日間で演奏するという前人未踏のプロジェクトを大成功させDVDとしてリリース。また、ベートーヴェン生誕250周年にあたる2020年には、2日間でソナタ全曲を演奏する偉業を成し遂げ、全編収録DVDを発表。最新CDはデビュー30周年記念公演のライヴ録音「横山幸雄 ショパン:ピアノ協奏曲第1番&第2番他」(SonyMusic)。教育者、音楽プロデューサーとしても活躍。数々の音楽大学で客員教授として教鞭を取り、故中村紘子女士の意志を引き継ぎ日本パデレフスキ協会会長を務めている。

オフィシャルサイト <https://yokoyamayukio.net>

4歳よりヴァイオリンを始める。ザルツブルク音楽祭のコンチェルト・ソリスト・コンクール優勝。ザルツブルク音楽祭という世界的な大舞台からヨーロッパデビューを果たした。ザルツブルクより芸術文化賞、モーツァルトウムより最優秀演奏賞受賞。ウィーンフィル・ヴァルトゥオーゾ、チェコフィル室内管弦楽団等、世界最高レベルのオーケストラのメンバーとの共演を重ね、オランダ、イギリス、フランス、オーストリアなどでコンサートに出演する。その後英国王立音楽院在学中には、ロンドンのロイヤル・オペラハウスにてエルトン・ジョンのコンサートに出演。また国内でもこれまでにサントリー大ホールにて東京フィルハーモニー交響楽団、東京芸術劇場大ホールにて飯森範親指揮・東京交響楽団、小林研一郎指揮・日本フィルハーモニー交響楽団等とソリストとして共演。英国王立音楽院演奏家ディプロマコース卒業(最優秀演奏賞のDipRAM受賞)。日本音楽財団より銘器「グアルネリ・デル・ジェス「ムント」」を貸与される。Album『Lovely♡恋音』発売。2018年ユニバーサルミュージックより『Sweet Violin』、2020年には新曲『Dear Bride』をリリースし好評配信中。

日経CNBC『Save Earth』のTVCMイメージキャラクターに抜擢され、三菱電機、旭化成、フコク生命などの大手企業とのコラボレーションCMに出演し注目を集め、TV・ラジオ・雑誌への出演も多く、多彩に活躍中。

<https://www.nozomi-violin.com>

埼玉県熊谷市に生まれ育ち、国立音楽大学声楽科卒業後、2008年に単身オーストリア・ウィーンに渡る。同年、ウィーンでの人生初めての劇場オーディションにて指揮者に指名され、ウィーン室内歌劇場でオペラデビューを果たす。

今までに演じた主な役柄は、モーツァルト作曲オペラ『魔笛』の夜の女王を中心に、『魔笛』の全ての女声パミーナ・パパゲーナ、第一侍女、ヨハンシュトラウス作曲オペレッタ『こうもり』のアデーレ、『ヘンゼルとグレーテル』の主演グレーテル、オペラ『シンデレラ』のクロリンダ、『白馬亭にて』の主演ヨーゼファなど、多彩な役をウィーン、ケルン、バーデンバーデン、マインツ、フライベルク、などの劇場にて演じる。教会音楽の世界でも活躍しており、宮廷歌手ルートヒルデ・ベッシュ、宮廷歌手クリスタル・ヴィッヒ等の元で声楽を学んだのち、シュペルトの葬儀が行われたオーストリア・ウィーンのリヒテンタール教会にてハイドン作曲『テレジアミサ』ソプラノソロを2009年に務めた。

その後、2011年にはドイツ・シュトゥットガルトにてバッハ音楽の巨匠、ヘルムート・リリングに指名されてカンタータのソロを務めるほか、現在はオーストリア・ウィーンのグリントゥング教会にて定期的にソプラノソロを務めている。

2013年にはバイロイトワグナー財団奨学生に選ばれ、フランス、ドイツ、オーストリア、チェコ、日本等、世界中でリサイタルを開催。2017年にはウィーン少年合唱団とも共演し、2018年には世界最高のオペラハウスのひとつであるウィーン国立歌劇場にてベートーヴェン第九のソプラノソリストに抜擢され、ウィーンの宮廷歌手たちと共演した。また、ウィーン語の訛りを駆使した「ウィーンリート」を歌う、ウィーンリート・オペレッタコンクールで1位を受賞したことにより、日本人初のウィーンリート歌手としてウィーンのメディアに注目された。

母国の日本でも定期的に歌声を披露しており、2016年には東京芸術劇場コンサートホールにて、ピアニストの横山幸雄氏等と共演し、日本初演となるグリエール作曲『コロラトゥーラソプラノのための協奏曲』を熱演した。

2019年には出身地の埼玉県熊谷市にある国宝・妻沼聖天山歓喜院にて、ヨーロッパのクラシック音楽と日本の琴を組み合わせたソロコンサートを行っている。さらに、近年は演劇界へもその活動を広げており、2021年には独り舞台『HIKIKOMORI』をウィーンやルクセンブルクにて好演したほか、『キックオフ』、『アンシュトース』などの舞台を演じ、『アンシュトース』はウィーン市の芸術委員に認められネストロイ賞にノミネートされた。現在、ウィーン市6区にて自分自身の劇場「TheaterArche」をオープンさせ、演劇のプロデュース面での活動も行っている。

国立音楽大学を首席で卒業、同大学より矢田部賞受賞。

第63回読売新人演奏会、ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。国際芸術連盟より奨励賞を受賞。

大学卒業後は長野県諏訪市の実家の家業を継ぐとともに、創立1925年の日本最古の市民オーケストラ、諏訪交響楽団に入団。ホルン奏者を経て1997年に団の音楽監督に就任、指揮者として活動を開始し、1999年6月にはウィーン・コンツェルトハウス・モーツァルトザールにて指揮し成功を収める。

一方、2012年にはプロとアマチュア演奏家と一緒に音楽を楽しむ「はまぐんと仲間たちオーケストラ」を立ち上げ、紀尾井ホール、東京芸術劇場などで主催公演13回、共催公演4回と精力的に活動。これまでにピアニスト横山幸雄氏を始め国内外で活躍する多くの演奏家との共演を重ねている。

ホルンをロベルト・フロイント、安原正幸、千葉馨、守山光三の各氏に師事。指揮法をウラジミール・フェドセエフ氏、湯浅勇治氏(キリル・ベトレンコの師)に師事。室内楽をアンリエット・ビュイグ・ロジェ女史に師事。

国立音楽大学同調会評議員、日本ホルン協会理事。

諏訪交響楽団音楽監督、はまぐんと仲間たちオーケストラ 主宰。